学校番号	３１８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）現代文演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	わかる、とける現代文　解法のテクニック２【三訂版】　（啓隆社）						
副教材等	・大学入試　国語頻出問題　（いいずな書店） ・現代文　解法のテクニック　速読×多読１（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ

・社会生活を送る上で必要である基本的な国語の知識や技能を育成する。
・様々な文章を「読む」また内容をまとめて「書く」ことで言語感覚を磨くとともに、論理的に考える力や深く共感する力を身につける。
・言葉が持つ価値について考え、言葉を通して積極的に他者や社会にかかわろうとする態度を養っていく。

2　学習の到達目標

・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、多くの文章を読むことで、自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、様々な文章を読むことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	指示語や接続語、キーワードに注意しながら、内容や構成を捉えて筆者の主張を読み取る。 ［教材］(論理的文章問題)「評論の読み方」ほか	a:文や文章の中で活用できる語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 c:本文の構成と論理の展開を捉え、工夫して整理しようとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 振り返りシート	授業態度 課題提出 ノート提出 振り返りシート
	話題や表現のしかたなどに注意しながら、筆者や登場人物の心情を読み取る。 ［教材］(文学的文章問題)「内容説明」ほか	a:語彙を増やすとともに行動や描写から心理を読み取る。 b[読]:登場人物の行動や心理の動きをもとに場面の展開を的確に抑える。 c:本文の話題や表現の工夫を読み取り、自身の表現方法に生かすよう粘り強く読もうとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 振り返りシート	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出 振り返りシート
	より適切な表現にふさわしい言葉選びを理解する。 ［教材］「実用的な文章」ほか	a適切な表現ができるための語彙を増やす。 b[書]:相手・目的・場面に応じた適切な言葉選びを理解する。 c:積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 振り返りシート	授業態度 発表報告 課題提出 振り返りシート
2学期	文章に含まれている対比構造などの情報に注意し、筆者の主張とその根拠を捉える。 ［教材］(論理的文章問題)「理由説明」ほか	a:主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を読み取る。 b[読]:文章に含まれている情報の関連性を確認しながら、対比構造などの構成や論理の流れを捉え、主張の根拠を理解する。 c:主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 振り返りシート	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出 振り返りシート
	人物の描写や表現の工夫などに注意しながら、文章の主題を読み取る。 ［教材］(文学的文章問題)「心情理解」ほか	a:語彙を増やすとともに表現の工夫を読み取る。 b[読]:登場人物の行動や心情の変化をもとに場面の展開を抑え主題を読み取る。 c:本文の話題や表現の工夫を読み取り、自身の表現方法に生かすよう粘り強く読もうとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 振り返りシート	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出

	慣用的な表現などの語彙量を増やし、言語生活を豊かにする。 ［教材］「表現」など	a:慣用的表現などの語彙を増やした上でそれらを意識した言葉遣いをすることを理解する。 b[　書　]:慣用的表現が選択される視点を理解する。 c:積極的に慣用的表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 振り返りシート	授業態度 発表報告 課題提出 振り返りシート
3学期	論理の展開を的確に捉え、要旨を把握し、意見をまとめる。 ［教材］(論理文章問題)「段落構成」ほか	a:語彙とともに図表等資料付き問題の基礎的な捉え方を知る。 b[　読　]:長文や、複数文章などの問題を段落展開や構成 に留意しながら主題を読み取る。 c:既習の評論とを読み比べ、積極的に自身の意見をまとめようとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 振り返りシート	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出 振り返りシート
	心情の変化や根拠を読み取り、自分の考えや思いをまとめる。 ［教材］(文学的文章問題)「複数資料小説」ほか	a:語彙を豊かにするとともに、文学史的内容の知識を増やす。 b[　読　]:心情の変化やその根拠、主題を的確に理解し、自分自身の考えを深める。 c:作品に表れた主題を積極的に読み取り表現しようとするなど有効に生かそうとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 指名音読 振り返りシート	授業態度 発表報告 課題提出 ノート提出 振り返りシート
	対象とする相手や用途などに配慮した適切な語彙選びを意識する。 ［教材］「要約」など	a:文章作成を意識した上で語彙量を増やしていく。 b[　話／聞　]:時宜にかなった表現を意識して短文を作成し、発表する。 c:発表された表現の工夫を理解し、自分の言語活動にいかそうとしている。	小テスト 定期考査 発問評価	授業態度 発問評価 振り返りシート	授業態度 発表報告 課題提出 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間